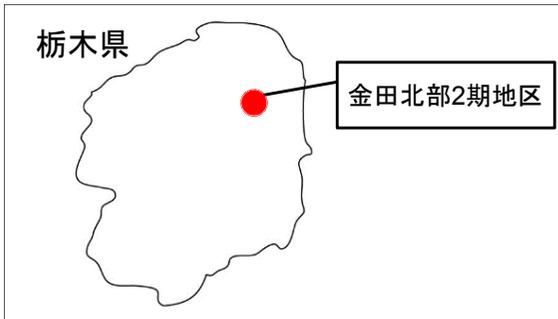


圃場整備を契機とした土地利用型園芸の取組(金田北部2期地区)

【那須農業振興事務所 大田原市】

【取組地域の概要】

- 位置
栃木県大田原市



- 事業名 県営農地整備事業
- 工期 H11～18年度
- 受益面積 131.1ha
(水田：129.5ha、畑：1.6ha)
- 主要工事 区画整理：131.1ha
暗渠排水：13.5ha
- 総事業費 1,466,000千円
- 関係土地改良区 大田原市土地改良区
- 主要作物 米、麦、ねぎ、うど、なす、ニラ、花卉など
- その他の支援施策
 - ・ 多面的機能支払交付金 (H19～)
 - ・ 県営ふるさと農道事業

生産基盤

排水性の向上による生産力の拡大

ほ場の大区画化や暗渠排水等により排水性が向上し、水田の汎用化が図られた。



基盤整備
(H11～18)

【整備前】

農地は10a～20a程度の不整形な農地が大部分であり、道路は幅員が狭く屈曲しているなど大型機械の導入が困難な状況であった。

生産現場

土地利用型園芸への取組

- 排水不良が解消され、土地利用型園芸の取組が可能となった。
- 大区画化したことで、経営規模が拡大し、大規模な土地利用型園芸農家が育成された。

地域の取組

ねぎ生産者の連携による取組

- 地区内のねぎ農家6戸で研究会を発足させ、定期的に勉強会を行い、品質向上を図っている。
- 今後も意欲的に面積拡大を図っていく考えであり、広域での活動が期待される。

ブランド化の取組

那須ブランド野菜への取組

- 水稻の労働時間が短縮したことで、露地野菜の生産面積の拡大が図られ、那須ブランド野菜への取組に寄与している。



那須の春香うど



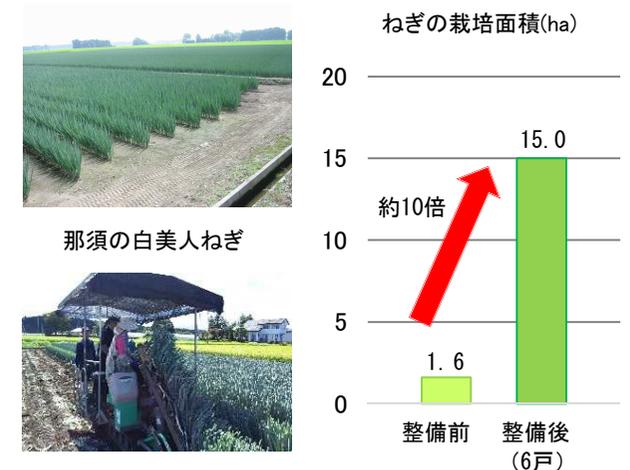
那須の美なす

水田の汎用化による露地野菜(ねぎ)の生産拡大

- 水田が汎用化し、転作が可能となった。
- 大区画化や道路が整備されたことで、大型機械が導入され、作業効率が上がった。



地区内のねぎの栽培面積が拡大



那須の白美人ねぎ

